

# 中京大 畔柳 圧巻8<sup>1</sup>2<sup>1</sup>12<sup>K</sup>

愛知県大会 初回先頭から5連続、3回2死から4連続

## 秋季 高校野球

秋季高校野球愛知県大会準々決勝が26日、名古屋市の熱田愛知時計120スタジアムであり、中京大中京は誉に9-2で8回コールド勝ちし、4強入り。至学館、東邦、中部大春日丘も勝ち上がった。三重では海星が3位決定戦で勝ち、秋季東海大会(10月24、25、31日、11月1日)三重・タイムスタジアム伊勢、四日市市営霞ヶ浦第一)出場を決めた。決勝は三重が松阪商に勝ち、優勝した。静岡では準決勝があり、藤枝明誠、常葉大菊川が東海大会の出場権を得た。

### 東海切符へあと1

中京大中京の最速151<sup>キ</sup>右腕が奪三振シヨイを繰り広げた。先発のエース、畔柳亨丞投手(2年)が8<sup>1</sup>2<sup>1</sup>12<sup>奪三振</sup>。初回先頭から5者連続三振で立ち上がると、3回2死からは4者連続三振と圧巻の投球を見せた。「自分は三振を取る方なので、丁寧に投げた結果」

▽準々決勝(熱田愛知時計120スタジアム)  
中京大中京 0003100005-9  
00001010105-2

誉

(8回コールドゲーム)

(中) 畔柳 西川  
(誉) 川崎 藤垣

と直球、チェンジアップで空振りの山を築いた。連打を許した5、7回

に失点したが、ともに1失点のみで切り抜けた。3回戦の愛産大三河戦で自己最速を1<sup>キ</sup>更新する151<sup>キ</sup>を計測。2年秋の時点の球速では、前チームの絶対的エースだった高橋宏の148<sup>キ</sup>を上回っているが、「スピードだけじゃないので。ま

だまだ」と慢心はない。

27日の準決勝・至学館戦に勝てば、5年連続の秋季東海大会出場が決まる。「連覇も懸かっているけど、目の前の相手に立ち向かって、一戦必勝で頑張る」。まずは決勝進出を決めて、来春センバツへの道を切り開く。

(麻生和男)

畔柳に勝ちたい

### 至学館・石川

⑤：7回コールドで4強入りした至学館は、先発・石川ら4投手のリレ1で1失点でしのいだ。3回途中2安打無失点だった石川は「試合を作ることを意識した」と納得



12奪三振の力投を見せた中京大中京の畔柳亨丞投手。名古屋市の熱田愛知時計120スタジアムで(麻生和男撮影)

◇愛知県大会(26日・小牧市民ほか)  
▽準々決勝  
東邦 4-3 享栄  
中部大春日丘 5-2 豊橋中央  
日丘

至学館 8-1 成章  
中京大中京 9-2 誉

顔。27日の準決勝では中京大中京と対戦。石川はSASUKE名古屋ヤングでプレーした中学時代、中京大中京の151<sup>キ</sup>右腕、畔柳とチームメイトだった。石川は「上の存在だけど、絶対に勝ちたい」と意気込んだ。